

認知的ウェルビーイング： ENHANCE 研究

将来的な聞こえの対処に必要なエビデンスに基づく指導

01

難聴と認知機能低下に関する新たな所見

ランセット委員会では、
難聴は高血圧や肥満よりも、
認知症を

**改善する可能性
が最も高い**

ことを確認しています。¹

**難聴と認知機能低下
との関連性を理解する**
ことが、成人の難聴者の
現在および将来の管理に
とって極めて重要です。

ENHANCE 研究では、高齢
者の難聴を補聴器で改善
することで、**認知機能の
低下を遅らせたり、予防
したりできるかどうか**を
調査しています。²

02

ENHANCE 研究：具体的な情報

ENHANCE とは、Evaluation of Hearing Aids and Cognitive Effects
(補聴器と認知的効果の評価) の略です。²

ENHANCE 研究の結果は、
世界中の難聴高齢者の今
後の聴力管理に役立つこ
とが期待されています。²

メルボルン大学、オーストラリア

主な結果：
補聴器を使用して難聴を
改善すると、認知機能の
低下を遅らせる可能性が
ある。³

現在、本研究は症例数を
増やすため、参加者を募
集中です。²

03

聞こえのケア：認知的健康の推進役

聴覚専門家は、聞こえのケアの総合的メ
リットを強調するため、問題の中心を可聴
性(特に認知的健康)に変更できます。

当社では、聴覚専門家に顧客と
の話し合いに認知的健康の話題
を積極的に取り入れるためのリ
ソースを提供します。



リソースを確認する
www.phonak.com/cognitive-well-being

- Livingston, G.; Huntley, J., Sommerlad, A., Ballard, C., Banejee, S. (2020). Dementia prevention, intervention, and care: 2020 report of the Lancet Commission, DOI:[https://doi.org/10.1016/S0140-6736\(20\)30367-6](https://doi.org/10.1016/S0140-6736(20)30367-6).
- University of Melbourne (2023, August 15). The ENHANCE Study: Evaluation of Hearing Aids and Cognitive Effects. <https://healthsciences.unimelb.edu.au/research-groups/audiology-and-speech-pathology-research/hearing-and-cognition-research-program/research/remediation-hearing-aids>.
- Sarant, J., et al. (2023, July 16-20). Cognitive Function in Older Adults with Hearing Loss: Outcomes for treated vs untreated groups at 3-year follow-up [Conference presentation]. AAIC 2023 Conference, Amsterdam, Netherlands.

